阿賀野市立 京ヶ瀬中学校
～ http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/ ～
京ヶ瀬中学校
〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋739
TEL0250-67-2004
27-01号
平成27年４月25日発行

学ぶことは考えること　それが学習！

校長　長谷川　敦

平成２７年度が始まってもうすぐ１ヶ月となります。入学した１年生は中学校生活のリズムにようやく慣れてきたようですし、２年生は中堅学年としての自覚を持って生活できているようです。そして３年生は先般、修学旅行を実施し，多くの成果を上げて無事帰ってきました。同行した私は，これから学校の顔となって様々な活動に取り組んでいこうとしている３年生の強い意気込みを感じているところです。

さて，新学年の授業が始まり，どの学年も真剣に学習を進めていますが，私たちは何のために学校で授業を受け、勉強しているのでしょうか。新聞のある連載に「学ぶ大切さ　～知識、判断力　仕事に必要～」として執筆されている部分がありましたので，紹介します。

-------「高校を中退して『もう勉強しなくてもいいや』と思ってしまう子もいるかもしれません。しかし，学力が必要とされるのが一部の限定された仕事と思うのは誤りです。例えば，ラーメンの有名店に行列ができるのは，運が良いからではありません。どんな堅さの麺やどんな味のスープが時代に合っているのか、温度管理をどうするのか。店の内装は，接客は…と，マスターは日々いろいろなことを考え，努力し，今日の繁栄を築いています。その全てに学びがあります。」 -------

（新潟日報 H27.4.15）

ほとんどの生徒が義務教育を終了し、高等学校で学習した後、仕事に就くことになります。その職業がどんな職種であろうとも、仕事をしていく上で「学び」が必要になります。それは、単に国語や数学の知識がある、英単語が分かるなどという知識の量の問題ではなく、その職種に必要な知識をある程度蓄えた上で、自らの思考力・判断力・表現力を働かせて仕事に役立たせることができるかということが重要ということです。例えば、お客のニーズに合う物を作って販売したり、お客を喜ばせるもてなしを考えたり、いかにお客を引きつける宣伝をすることができるか等は、その人の思考力・判断力・表現力の問題となります。いい仕事をする者は、これらの力をしっかりと発揮していると言っていいと思います。

そのような力を生徒に育てるために、学校では基礎的・基本的な知識とともに、それらを活用する思考力・判断力・表現力の育成に力を注いでいます。知識一辺倒ではない、「考える力」を育てるために。

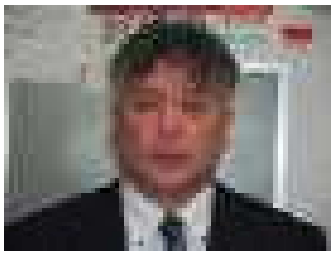
４月の京中
スナップより

↓男子バスケ　↑野球部　↓柔道部　↑陸上競技部　↓美術部　↑バレー部　↓吹奏楽部　在校生一同↑

４月７日、とっても和気あいあいな、あったかい雰囲気の中、行われた生徒会オリエンテーション・部活動紹介から

今年度転任された 渡邉 教頭先生から「京中生徒の印象」について話してもらいました。

そうすることが誇らしいと感じる生徒たち



教頭　渡邉　正人

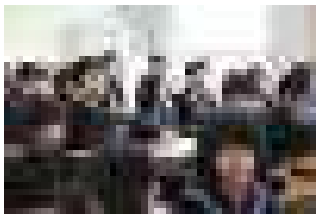
母校に帰るような嬉しさを胸に、１７年ぶりに京ヶ瀬中学校へ戻ってきました。そんな私のワクワク感をさらに大きくさせてくれる生徒たちの姿が目の前にありました。

生徒会オリエンテーションでの一場面です。新入部員獲得のために各部活動が活動紹介を行います。どの部活動も自分たちの日頃の成果を見せる絶好の機会であり、少しでも他の部より自分たちの活動を良く見せようと考えがちな場面になります。ところが、京中生徒たちにはそんな思いは全く感じられませんでした。バスケ部がシュートを決めれば１年生以上に２・３年生が大きな賞賛の声を送っていました。バレー部が３０回連続でパスを成功させれば同様に体育館いっぱいの拍手が響き渡っていました。

仲間の頑張っている姿を自分の事のように喜ぶことができる生徒たちを目にして、何て心の温かい集団なんだろうと驚きを隠せませんでした。「仲間の成功を自分の喜びにできる」そんな自分たちが大好きなんですというメッセージが私の胸に突き刺さってきました。

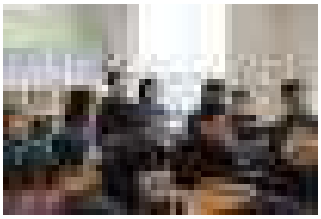
私たちは京中が大好きです。一緒にいる仲間が大好きなんですという思いを行動で表現できる生徒たちとの学校生活が私は、楽しみで仕方がありません。

新しい仲間たち、新一年生６４人が入学してきました



４月６日（月）午後から、入学式が行われ、６４人の新１年生が入学してきました。まだまだあどけない表情の新１年生　ですが、今日まで３週間あまりの中学校生活を過ごしてきました。

ワクワク・ドキドキと、期待と不安でいっぱいなのは見ていてわかりますが、初めての中学校の授業や、初めての部活動、初めての先輩たちとの交流など、一つ一つの中に新しい発見があるようです。



１年生の各クラスから、代表して２名に「中学校生活を過ごしてみて」いま、思っていることを語ってもらいました。

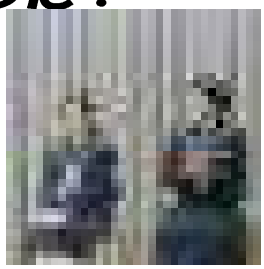
１年１組　○○　○○

京ヶ瀬中学校の制服を着て、わくわくする気持ち、不安な気持ちを感じながら、入学しました。でも少しずつ、中学校生活に慣れてきました。今、がんばりたいことは、授業でのノートのとり方を自分なりに工夫して、理解を深めていくことです。京ヶ瀬中学校の生徒として、あいさつをしっかり大きな声で行い、学習と部活動の、どちらも力を抜かず、取り組んでいきたいです。そして、一年生としても京ヶ瀬中学校をよりよくしていきたいです。

１年２組　○○　○

私は、小学校の卒業式で「中学校の勉強は難しくなるので、集中して学習に取り組む」と発表しました。しかし、まだ、なかなか授業に集中できなくてよくミスをしてしまいます。これからは、中学生になったので、今までよりも集中して学習に取り組めるようにしたいです。そのために、毎日必ず一時間の家庭学習をします。さらに、一年生の間に「一日２ページは自学をする」ようにしたいです。そして、学習も部活も両立できるように努力します。

心機一転、思い思いの決意を新たに、“平成２８年度 新学期”がスタートしました！



新しい学年に進級しての初日、新２・３年生の表情はどことなく凛々しく見えました。それぞれに「今年こそはがんばるぞー！！」、「〇〇に挑戦する年にするぞ！」という決意を心に秘めてスタートしたことがよくわかりました。以下に、始業式での代表生徒の言葉を紹介します。

夢

２年１組　〇〇　〇〇

私の夢は「人を幸せにすること」、「世界を変えること」です。
私は春休みに図書館で、ある映画作品を見つけました。『僕らは世界を変えることはできない』という作品名は、私の夢を全否定するものでした。私が、今の夢を持つまで全く興味がなかったことです。ある大学生が、カンボジアに小学校を建てる物語です。私はこの作品に出会えてよかった。この作品で学んだのは、命の大切さ、生きていける幸せです。

四十年前、ベトナム戦争に巻き込まれたカンボジア。人口八百万人のうち、約四人に一人が亡くなりました。この作品に出てきた博物館には、その頃の傷跡が残されていました。（・・・作品の中には、非業の死をとげたたくさんの人たちの様子、拷問を受けた人の様子、そして遺体・遺骨などの、生の映像・写真や絵画などがおさめられていました。・・・）私は目をふさぎました。でも、その映像は私の脳裏にくっきり残っています。

この作品に出会うまで、私は、(社会を)すごく甘く見ていた。頑張れば、夢は叶うと思っていた。でも違った。今の私は、努力も苦しみも、気持ちも足りていない。努力するのにどれだけの根性がいるのか、また、苦しみに耐えるのに、どれだけの粘り強さがいるのか（わかっていない)。まずは、それを知ることから始めたい。

ここは私にとってのスタート地点。
今、私のやるべきことは、(当たり前のことをがんばりたい)。それは、課題・あいさつ・人に役に立つことです。それができなければ、私の夢である「世界を変える」、「人を幸せにする」ことなどできないから。

私は、夢の実現のために、今日からがんばる。

三年生の抱負

３年２組　〇〇　〇〇

私が三年生になって頑張りたいことは２つあります。一つ目は、水泳です。今年の目標は、秋田全中と和歌山国体に出場することです。目標達成のために、日々の練習はもちろん、地道なトレーニングを積んでいきたいです。当たり前の練習をずっと継続させて「特別」にしていきます。さらに水泳だけにかたよらず、文武両道を目指したいです。

二つ目は、受験勉強です。「自分の夢」実現に近づくために学校を選び、その志望校に合格できるように頑張りたいです。約一年後に迫った高校入試を目指して、私たち三年生は、新研究を一日１ページやっています。私たちの学年の新研究の提出率は、高いです。毎日部活動や生徒会で頑張っているメンバーを含め、みんなが忘れずに提出しています。みんなの受験に対する頑張りに負けないように、自分自身もノートの工夫・授業の態度を改めて良くしていきたいです。

さて、(新学期）二日目に修学旅行がやってきます。「Let's　enjoy 関西…かんしゃを忘れず、さいこうの思い出にしよう」のスローガンのもとに、日本の文化や人間関係などについて、三年生一人一人が、何かを感じたり学べたらいいなと思います。京中の顔として、礼儀よく、マナーよく、みんなが楽しい修学旅行にしたいです。

生徒指導部から保護者の皆様へ

生徒指導主事　齋藤　佑

京ヶ瀬中学校5年目となりました齋藤佑です。生徒指導を担当します。今年度も学校だよりの中で、子どもたちの学校での様子、職員が取り組んでいることなどの情報を発信いたします。よろしくお願いします。

うれしかったこと

○朝読書は、静かで落ち着いた雰囲気で続けられています。8時15分のチャイムと同時に教室が静まり返ります。4月当初から続いている素晴らしい活動です。

○「あいさつがいいね」と地域の方からお褒めの言葉をいただきました

素晴らしい生徒会スローガン

Go to the next

体育館ステージにどっしりと構えたつ平成27年度生徒会スローガン。京ヶ瀬中学校は現状から次の段階へ。自分たちでさらによりよい学校に変えていこうという生徒の強い意志の表れだと思います。我々職員一同も、子どもたちが理想を追い求めようとする強い意志をより確かなものにできるよう、子どもたちを支援し、温かく見守っていきたいと考えています。

4月の生徒指導の重点活動について

4月は学級活動期です

学　級　活　動　期　の　生　活　目　標

「絆づくりと約束事」

京ヶ瀬中学校生徒としての自覚を深め、
新年度の心構えを固めよう

年　間　重　点　活　動

○あいさつ　○時間　○服装　○清掃

4月の重点指導課題は「人間関係づくり」

平成27年度がスタートしました。今年度は6つの重点期である「学級活動期」「学習・部活動両立期」「秋桜祭期」「学習・学級充実期」「いじめ0重点期」「卒業期進級準備期」を昨年度と同じく設定し、教育活動をスタートいたしました。各重点期では課題を明確にした指導を行ってまいります。

4月の学級活動期では「人間関係づくり」に力を入れて指導してまいります。

「学級・学年・学校に貢献する思いやりの心の育成を目指します」

(1) 学年学級の組織づくり

生徒間の人間関係の構築、生徒・職員間の良好な共感的人間関係の構築をめざし、生徒の喜び、悲しみ、怒り、悩みなど機敏に感じ取れるようきめ細かく見とります。

(2) 生徒の心の居場所のある学級・部活動づくり

生徒一人一人を大切にした「丁寧な生徒指導」に心掛け、生徒一人一人の良い面を認め、伸ばします。また、生活・学習ルールの共通実践に力を注ぎます。

① 遅刻をしない
② チャイム着席を徹底する
③ 下校時刻を守る
④ 集会時の整列は私語なく素早く行う
⑤ 身なりを整える

今年度も年間重点事項として「あいさつ・時間・服装・清掃」に全職員で力を入れていきます。

生徒指導部の今年度の指導の重点

1　互いに認め合い、人に貢献できる温かい人間関係を築きます

- 学習指導等の各指導部が連携し、共感的人間関係を築くための取組を行います。
- 教育相談部ではよりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケートを年間2回実施し、温かい学級づくりに活用します。

2　いじめの防止、解消の取組を継続します

- 普段の対話や相談を通し、生徒一人一人の悩みの把握、解消に務めます。定期「教育相談」は年間3回実施します。
- 学校生活アンケートを毎月末に実施し、実態把握、問題の解消に努めます。
- 生徒会では「いじめ見逃しゼロスクール運動を通して、生徒の手によるいじめ見逃し0を目指します。

3　保護者・地域・小学校との連携を大切にします

- 各種だより、ホームページなどを通し、学校の様子を伝えます。アンケート等で意見をいただき、改善を図ります。
- 小学校と連携し「京ヶ瀬中学校区中1ギャップ解消プログラム」を推進します。